



**UNITE  
FOR  
GOOD**

よいことの  
ために  
手を取りあおう

2025-26年度  
国際ロータリー会長  
フランチェスコ・アレツツォ  
第2600地区ガバナー 小林 磨史



【事務局】〒386-0025 長野県上田市天神4-24-1 上田東急REIホテル 3F  
TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002 <http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/>  
《例会日》毎週火曜日 12:30~13:30 《例会場》上田東急REIホテル 2F 《創立》1997年2月18日

- 会長 合原 亮一 ● 幹事 斉藤 仁 ● 出席・会報・ニコBOX委員長 水野 康雄 ● 副委員長 宮原 宏一
- 委員 青柳 淳一・川島 隆教・北村 久文・小林 善久・胡桃沢 拓也・松澤 一志・西澤 尚夫・清水 一典

## 例会日誌



- 司 会 清水 一典君
- 点 鐘 合原 亮一君
- R ソング 「それでこそロータリー」
- ゲ ス ト

長野大学ローターアクト

- 幹 事 小野寺 竜様
- 会長エレクト 五十嵐大晴様
- 次年度幹事 島田 勇介様



□ ラッキー賞

- 提供者 山崎芳雄君 「宮古島土産」
- 合原会長・
- 生川秀樹君



□ 委員会報告

- 「創立記念チャリティ夜間例会」について
- 親睦委員長 中澤信敏君



## 会長挨拶



### 合原 亮一君



今日は長野大学ローターアクトの若い方々を初めて迎えています。最近「若い人ってすごいなあ」と思ったことが続いたので、そのことを少しお話したいと思います。

まず昨年 11 月 30 日に職業奉仕委員会の主催で、長野のメトロポリタンホテルで職業奉仕セミナーがありました。知事とか県教育長とかも参加されていたわけですが、それよりもインターアクトクラブの若い高校生の奉仕の発表に驚きました。若い人たちが奉仕活動にわれわれ以上に取り組んでいる。すごいなあ、と思いました。

また一昨日、塩田のさくら国際高校の 20 周年記念式典があって、六文銭を代表して参加させてもらったのですが、そこでの高校生の活動紹介にも驚きました。ダンス部の子達が、ニューヨークのカーネギーホールで公演をしたことがあるそうで、プロの間でも競争の厳しいすごい場所に、

高校生で参加することができるなんて、非常に驚きました。

式典では協力してくださった方への表彰もあり、当クラブ会員の清水一典さんも表彰されていました。おめでとうございます。またさくら国際高校では、体育館の建て替えが必要とのことで、建替資金の寄付を募っています。3 年間にわたって募集するとのことで、会員各位においてはご検討いただければと思います。六文銭としては今年度は年度途中なので見送りましたが、3 年間なので、来年度以降検討していければと思っています。

さて、今日はローターアクトの皆さんが参加してくれました。今日はこの後これまでの活動を紹介していただきます。若い人たちが奉仕活動にわれわれ以上に頑張っていることの一部を感じていただければと思います。よろしくお願いいたします。

## 幹事報告



### 杉山 裕君

1. 地区事務所より
2. ロータリーの友事務所より
  - ・ロータリー手帳のご案内
2. 上田ロータリークラブより
  - ・例会場変更のお知らせ…
  - 4/6 例会より SALO (旧上田温泉祥園)
3. 理事会より
  - ・2 月理事会議事録
4. 上田青年会議所より
  - ・新年会御礼
5. さくら国際高校より・寄付依頼状

## 出席・会報・ニコBOX



### 川島 隆教君

	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	22	2	0	90.91%
前々回	22	4	2	90.91%

合原亮一君 今日初めてローターアクトの仲間をお迎えしての例会です。よろしくお願いいたします





- す。  
 清水一典君 長野大学ローターアクトクラブの皆さん  
 ようこそ。共に楽しみましょう。  
 西澤尚夫君 『勝って兜の緒を締めよ』これも時代遅れ  
 かな。  
 戸堀真澄君 ローターアクトの皆様ようこそ。上田六文  
 銭ロータリークラブへ。本日はよろしくお  
 願いたします。  
 中澤信敏君 長野大学ローターアクトの皆様ようこそ。  
 今後よろしくお願いたします。  
 水野泰雄君 ようこそ。長野大学の皆様初めまして。よ  
 ろしくお願いたします。  
 斉藤恵理子君 ゲストの皆さんようこそ。これから宜しく  
 お願いたします。  
 山崎芳雄君 台湾經由沖縄に浜田省吾のコンサートに  
 行って来ました。  
 小林善久君 皆さんお久しぶりです。先月は月の半分寝  
 込んでいました。インフルエンザには気を  
 付けましょう！今日はよろしくお願いし  
 ます。  
 川島隆教君 長野大学のみなさん、ようこそ！

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 肥田野秀知君 | 笠原 一洋君 | 北村 久文君 |
| 松澤 一志君 | 杉山 裕君  | 宮澤 広一君 |
| 青柳 淳一君 | 生川 秀樹君 | 吉田 穰君  |

**ニコニコ BOX 喜投額 2/3 22,000 円**  
**今年度累計 579,000 円 96.5% (予算目標 60 万)**

## ローターアクト設立準備例会



長野大学ローターアクトクラブのこれまでの活動をご  
 紹介します。まず丸子ロータリークラブ等のご支援  
 をいただき、2025 年 2 月にカンボジアのプノンペン  
 教員養成大学を訪問し、図書を寄贈し、現地の教育・  
 社会情勢の視察を行いました。参加した長野大学生  
 3 名は、それぞれ「教職課程における学びや消極的  
 な自分を変えたい」、「途上国学生の志や発展の現状  
 を確かめたい」、「海外でのボランティア経験を通じ  
 た実践的な学びを得たい」という異なる動機を胸に  
 現地へ向かいました。

複数の教育機関や施設を訪問し、カンボジアが抱  
 える課題と、それに対する力強い歩みを目の当たり  
 にしました。キリロム工科大学では、多くの学生が  
 企業スポンサーから生活費や授業料の支援を受け、  
 卒業後の就職を条件に「自立」を目指して学ぶ姿が  
 印象的でした。

政府認定の児童福祉施設（FLO : Future Light  
 Organization）は、孤児院、学校、家族といった多  
 面的な役割を持っています。ここでは厳しい教育方

針のもと、子どもたちが Word や Excel、プログラ  
 ミング、そして流暢な英語を習得しており、その学  
 習水準の高さに衝撃を受けました。3 日間の研修や  
 移動を通じ、都市部と地方の格差や、独自の社会シ  
 ステムについても深い洞察を得ました。首都プノン  
 ペンは道も建物も近代化が進んでいる一方、地方で  
 は未舗装の道路や生活環境の不自由さが残っており、  
 発展途上国の現実を肌で感じました。

濃密な「異日常」の経験は、参加学生の価値観を  
 大きく揺さぶるものでした。訪問前に学生たちが抱  
 いていた国際奉仕のイメージは「先進国が途上国に  
 支援を差し伸べる」という一方的なものでした。し  
 かし現地での交流を経て、真のボランティアとは、  
 単なる「支援する・される」の関係ではない。それ  
 は、互いの違いを認め、尊敬し合い、学び合うとい  
 う対等な「つながり」を大切にするということであ  
 るという結論を得ました。

2025 年 8 月の訪問では、学生たちは出発にあたり、  
 ボランティアを「自発的に助け合って生きる社会を  
 目指し、無償で労力を提供する行為」と定義しまし  
 ました。急速な発展を遂げるカンボジアの活気から  
 学び、互いに影響し合える関係を築くことを意識し  
 て臨みました。プノンペンからシェムリアップに  
 至るまで、国立プノンペン大学や教員養成大学、ウ  
 ドンミンチェン小学校やフランスの職業訓練施設な  
 ど多様な教育機関や施設を訪問し、現地のローター  
 アクトクラブの大学生とも交流しました。また今回  
 も「FLO」を訪問し、孤児院ボランティアを行いました。  
 訪問を通じてカンボジアの教育における「実践重  
 視」の姿勢が強く印象に残りました。実践的な  
 ICT と英語教育。FLO では英語やプログラミングな  
 ど、社会に出て即戦力となるための教育が行われて  
 いました。日本が「考える力」や基礎学力を重視す  
 るのに対し、カンボジアでは「自立して生きるため  
 に使う力」を育てることに重きを置いています。国  
 立プノンペン大学の学生は、わずか 2 年の学習で日  
 常会話以上の日本語を習得しており、将来日本に関  
 わる職に就くという明確な目標を持って努力してい  
 ました。一方小中学校では、子どもの数に対して  
 教室や教員が圧倒的に不足しており、午前と午後の  
 二部制で授業が行われていました。その環境でも、  
 小学生がパソコンを自ら組み立てるなど、学びに対  
 するエネルギーは日本の子供以上に強烈でした。

今年も 2 月 15 日から訪問を予定しています。こ  
 れまで同様の活動に加え、カンボジア現地で PC を  
 購入し寄付します。PC の操作方法などを教えるとい  
 った学習支援活動も行う予定です。またマレーシ  
 アへ渡航して次年度奉仕活動の下見を予定していま  
 す。  
 (文責 合原亮一)

